

とちぎ発

元気農業

ふるさととちぎ21活性化塾だより



平成28年

61号

平成27年度（第24回）ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクール最優秀賞（知事賞）作品



低学年 宇都宮市立豊郷中央小 2年
須藤 駿介さんの作品
「スイカの収穫」



中学年 宇都宮市立陽光小 3年
田中 悠揮さんの作品
「大根ぬけたぞ」



高学年 下野市立国分寺小 6年
篠原 渉さんの作品「稲刈り」

平成27年度美しいとちぎのむら写真コンテスト最優秀賞（知事賞）作品

農業に生き生きと携わる人々の姿部門



真岡市立長沼中学校 2年 杉山 幸大 さん
「農家の辛さ」

農地、水、農村環境を守る活動部門



真岡市立長沼中学校 2年 上野 聖幸 さん
「赤いハンドル」

目次

- 平成27年度（第24回）ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクール優秀作品
- 平成27年度美しいとちぎのむら写真コンテスト優秀作品
- 見て学ぶヨーロッパ海外派遣研修に参加しませんか！
- 6次産業化総合化事業計画の認定について
- 食と農の理解促進を目的とした2つの講座を開催いたしました
- 6次産業化実践者研修会・交流会の開催



- ・平成27年度（第24回）ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクール優秀作品
- ・平成27年度美しいとちぎのむら写真コンテスト優秀作品

平成27年度（第24回）ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクール優秀作品

栃木県とふるさととちぎ21活性化塾（事務局：(公財)栃木県農業振興公社）の主催による農業・農村児童画コンクールには、県内の小学生から1,258点（165校）の応募があり、審査の結果、最優秀賞3点（表紙に掲載）、優秀賞6点、優良賞36点が選ばれました。

◆優秀賞（栃木県教育長賞）



栃木市立大平南小1年
鈴木 璃子さん
「おじいちゃん、みて！みて！」



佐野市立天明小4年
松村 美和さん
「私とお米」



小山市立間々田東小6年
伊藤 来実さん
「ぶどうがり」

◆優秀賞（県農政部長賞）



▲大田原市立川西小1年 黒田 万葉さん
「とれたてやさしいおいしいな」



宇都宮市立晃宝小4年
伊藤 壱杏さん
「田植って大変だなあー」



▲下野市立国分寺東小5年 石井 愛美さん
「私の住む下野のかんぴょう畑」

平成27年度美しいとちぎのむら写真コンテスト優秀作品

「躍動する農業・農村の姿を撮ってみよう」をテーマに、栃木県、栃木県土地改良事業団体連合会及びふるさととちぎ21活性化塾の共催により、美しいとちぎのむら写真コンテストを開催しましたところ、県内の中学生及び高校生から164点の応募がありました。審査の結果、最優秀賞2点（表紙に掲載）、優秀賞4点、入選20点が選ばれました。

◆優秀賞 （県農政部長賞）

農業に生き生きと携わる人々の姿部門

栃木農業高等学校
2年
山崎 夢香さん
「稲わらそうじ」



真岡市立長沼中学校
2年
阿部 良美さん
「光る黄金と
コンバイン」



農地、水、農村環境を守る活動部門

那須町立那須中学校
3年
佐藤 滉介さん
「ため池1」



真岡北陵高等学校
2年
上野 彩華さん
「輝きを駆ける」



- ・見て学ぶヨーロッパ海外派遣研修に参加しませんか！
- ・6次産業化総合化事業計画の認定について



見て学ぶヨーロッパ海外派遣研修に参加しませんか！

青年農業者海外派遣研修は昭和62年度から始まり、本県農業を担う青年を海外の農業先進国へ派遣し、農業情勢や経営の実態について調査研究するとともに、広い視野と国際感覚を身につけ、優れた農業の担い手として地域農業発展に貢献いただくことを目的として毎年実施され、平成27年度で28回目となります。

平成12年度まではアメリカ・カナダを研修先に433名、平成14年度から研修先をヨーロッパに替えてオランダ・スイス・ドイツ・フランス・イタリア等に265名、合わせて698名（うち女性89名）を派遣しています。派遣された青年農業者は県内各地で先進的な農業経営を実践するとともに、地域のリーダーとして活躍しております。

この研修は平成28年度もヨーロッパで実施する予定ですので皆様の参加応募をお待ちしています。

*平成27年度実施した派遣研修（9/28～10/7：オランダ・ドイツ・フランス）の主な内容は、大規模経営農家等視察、農業行政視察、農産物生産流通システム視察、クラインガルテン視察、環境保全型農業、農業後継者との意見交換等を行いました。

①オランダのイチゴ農家



②大規模トマト農場



③大型農業機械



④フランスのマルシェ市場



6次産業化総合化事業計画の認定について

公益財団法人栃木県農業振興公社では、「栃木6次産業化サポートセンター」を設置しております。このたび、平成27年10月30日付けで新たに3件の6次産業化総合化事業計画が認定され、栃木県での認定件数は合計39件となりました。なお、今回新たに認定された方の概要については次のとおりです。



(株)和みの杜（さくら市）

自社生産のさつまいもを活用して、「焼き干しいも」、「冷やし焼きいも」の開発・製造を行い、付加価値の高い農業経営と所得の向上を目指すという計画です。

【写真は代表取締役の高野和久氏】



島田養蜂園（壬生町）

自家生産のはちみつを原料に、地域の農家が生産した果物を活用して、「果物のはちみつ漬け」の製造・販売を行い、自園の知名度やブランド力を高め、所得の向上を図るという計画です。

【写真は代表の島田誠一氏】



(有)那須バイオフィーム（高根沢町）

自社生産の本生黒きくらげを活用して、「本生きくらげわさびあえ」の製造・販売を行うことにより、生産・加工・販売の一貫体制を構築し、更なる経営発展を図るという計画です。

【写真は代表取締役の村上碩氏】



- ・「食と農の理解促進を目的とした2つの講座を開催いたしました」
- ・6次産業化実践者研修会・交流会の開催

「食と農の理解促進を目的とした2つの講座を開催いたしました」



「つなごう！食と農の実践講座」

一般県民の方を対象として9～12月の間に計8回開催しました。「生産者の声を消費者に届ける」というテーマで、県内の農業に携わる16人の方々に、「食と農に対する想い」を語っていただきました。



「クリスマスケーキにデコ体験」

小学生とその保護者を対象に12月23日に開催しました。材料はすべて県産のイチゴ・生クリーム、米粉シフォンケーキを使用し、講師は宇都宮短期大学附属高校パティシエ部の生徒が行い、デコレーションの方法を教えてくださいました。

参加者の方々から「栃木県産がもっと好きになった！」との感想が聞かれました。



6次産業化実践者研修会・交流会の開催



研修会の状況、講師の天野良英氏

平成28年1月8日、栃木県庁東館講堂並びに生協食堂において、約200人の農業者や商工業者、関係者が集まり、盛大に開催されました。

まず、6次産業化中央サポートセンターの企画統括マネージャーの天野氏から、自らの経験に基づく6次産業化の事例紹介と苦労話や注意点等について基調講演がありました。

続いて、松本謙氏からは6次産業化は地域活性化のための手段として大いに役立ち、そのためにはネットワーク化が必要なことの講演がありました。

その後、食堂で行った6次産業化見本市では、実践者が開発した商品を前にして、商工業者・関係者と話が弾み、有意義な交流会となりました。



松本謙氏 交流会の状況

とちぎ発 元気農業 ふるさととちぎ21活性化塾だより61号

発行日 平成28年2月15日
編集・発行 ふるさととちぎ21活性化塾
所在地 〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13
(公財)栃木県農業振興公社内

TEL 028(648)9511(代) FAX 028(648)9517
URL : <http://www.tochigi-agri.or.jp>
Eメール : info@tochigi-agri.or.jp

